



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,117	16.3	342		345		595	
2023年3月期第2四半期	1,335	7.6	40	32.8	44	359.1	16	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 595百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 16百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	109.70	
2023年3月期第2四半期	3.11	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,630	888	33.5
2023年3月期	2,559	1,527	59.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 880百万円 2023年3月期 1,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		8.00	8.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,624	8.5	180		181		441		81.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,428,000 株	2023年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	506 株	2023年3月期	506 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,427,494 株	2023年3月期2Q	5,427,494 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和により、企業活動及び個人消費行動が徐々に日常を取り戻し、景況感の押し上げが期待される状況となりました。一方で、各国の金融引き締めによる景気下振れリスクの拡大、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安に起因する各種価格上昇は継続しており、依然として不透明な状況が継続しております。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組み、業務効率化対応に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを背景に、企業の投資需要は引き続き増加しているものの、内外経済に対する影響への懸念から、新規の投資に対する先送りなど、投資に対する動きには慎重さが見られました。

このような状況の中、当社は、2023年6月6日付「第三者によるランサムウェア感染被害のお知らせ」にて公表しました通り、当社サービスを提供しているデータセンター上のサーバーがランサムウェアによる第三者からの不正アクセスを受けました。結果としてシステムが停止し、正常にサービスを提供できない状況となったことから、影響を受けた対象ユーザー様に対する6月ご利用分及び7月ご利用分の一部について請求を停止することとなりました。

またシステムの復旧に当たり、新たにクラウド基盤でのサービスを提供することとなったため、ランサムウェアに感染したデータセンター内のサーバーを撤去いたしました。更にシステム復旧及びサービス再開に当たり外部専門機関への調査委託費用、インフラ設備の再構築費用、セキュリティ強化のための費用などが発生しました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間において固定資産除却損として125,934千円、システム障害対応費用として125,275千円を特別損失として計上いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は売上高1,117,759千円（前年同四半期比16.3%減）、売上総利益233,083千円（前年同四半期比63.3%減）、営業損失342,035千円（前年同四半期は40,063千円の営業利益）、経常損失345,050千円（前年同四半期は44,228千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失595,413千円（前年同四半期は16,877千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで△49.6%（前年同四半期は1.2%）、当社単体では△40.5%（前年同四半期は3.7%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （社労夢事業）

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっている一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、前述しております通り、サービスを提供しているデータセンター上のサーバーがランサムウェアによる第三者からの不正アクセスを受け、当社サービスの対象である約3,400ユーザーの大半に対して正常にサービスを提供できない状況となりました。本事案を受け、影響を受けた対象ユーザー様に対する6月ご利用分及び7月ご利用分の一部についての請求停止を行いましたため、売上高が減少しております。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が797,848千円（前年同四半期比24.7%減）となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が763,907千円（前年同四半期比22.5%減）、システム構築サービス売上高が33,941千円（前年同四半期比54.5%減）となりました。システム商品販売売上高は40,150千円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

上記理由により売上高が減少したことに加え、新たなシステム基盤として構築したクラウドサービスの運用コストが想定以上にかかったことから売上原価が増加し、売上総利益、営業利益共に前年同四半期に比べ大幅に減少する結果となりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は845,176千円（前年同四半期比24.1%減）となり、売上総利益は163,195千円（前年同四半期比72.0%減）、営業損失は318,600千円（前年同四半期は73,911千円の営業利益）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は△37.7%（前年同四半期は6.6%）となりました。

## (CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービス「GooooN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの保守売上が順調に積み上がった一方、システム更新に対する企業の投資需要に応える新たな開発案件についても例年以上に積み上がりました。クラウドサービス「GooooN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

コスト面においては、原価コスト等の削減に引き続き取り組んでおりますが、先行して外注費、販促費等が発生したため営業損失を計上することとなりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は281,397千円（前年同四半期比24.1%増）、売上総利益は70,963千円（前年同四半期比35.2%増）、営業損失は33,384千円（前年同四半期は41,873千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額19,654千円を反映しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し117,272千円増加し、726,608千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は407,710千円（前年同四半期は245,293千円の獲得）となりました。主な増加要因は、減価償却費177,620千円、未払金の増加59,779千円、主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失596,260千円、仕入債務の減少40,630千円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は146,183千円（前年同四半期は284,420千円の使用）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出119,243千円、有形固定資産の取得による支出34,015千円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は671,166千円（前年同四半期は176,650千円の獲得）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入700,000千円、短期借入金の増加100,000千円、主な減少要因は長期借入金の返済による支出85,592千円、配当金の支払額43,241千円などによるものであります。

## 資本の財源及び資金の流動性

当社グループの資金需要につきましては、原則、営業キャッシュ・フローで得られた資金から、設備投資、借入金の返済などを実施しており、自己資金により流動性を確保する方針であります。必要に応じ、運転資金や大規模な設備投資について、金融機関からの借入で賄う予定であります。

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,381,594千円（前期比12.1%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金726,608千円、売掛金487,924千円となっております。

また、固定資産の残高は1,249,388千円（前期比5.9%減）となりました。主な内訳は、ソフトウェア480,817千円、差入保証金157,298千円、のれん116,467千円となっております。

以上の結果、総資産は2,630,983千円（前期比2.8%増）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、989,915千円（前期比19.0%増）となりました。主な内訳は、短期借入金300,000千円、未払金282,339千円、1年内返済予定の長期借入金182,214千円となっております。

また、固定負債の残高は752,978千円（前期比274.6%増）となりました。主な内訳は、長期借入金742,786千円となっております。

以上の結果、負債合計は1,742,893千円（前期比68.8%増）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における株主資本は、880,820千円（前期比42.0%減）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金202,122千円、利益剰余金460,087千円となっております。

以上の結果、純資産は888,089千円（前期比41.8%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前述の通り、新たなシステム基盤として構築したクラウドサービスの運用コストが想定以上にかかったことなどから計画を下回る数値で推移しておりますが、第3四半期連結会計期間以降に一部製品価格の改定（値上げ）を予定していることやクラウドサービスの運用コストの改善を見込んでいることから、2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年8月8日に公表した「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております連結業績予想を据え置いております。

今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	609,336	726,608
売掛金	507,988	487,924
商品	29,154	25,080
仕掛品	29,966	29,003
貯蔵品	440	415
前払費用	47,293	43,080
その他	8,350	69,481
流動資産合計	1,232,530	1,381,594
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	112,613	106,851
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	144,907	32,618
有形固定資産合計	257,520	139,469
無形固定資産		
ソフトウェア	485,234	480,817
ソフトウェア仮勘定	249,092	317,265
商標権	855	740
電話加入権	1,218	1,218
のれん	136,016	116,467
無形固定資産合計	872,417	916,509
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	163,022	157,298
繰延税金資産	33,216	34,874
その他	1,176	1,176
投資その他の資産合計	197,475	193,409
固定資産合計	1,327,414	1,249,388
資産合計	2,559,945	2,630,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	78,633	38,002
短期借入金	200,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	115,592	182,214
未払金	125,321	282,339
未払費用	17,838	29,947
未払法人税等	77,519	2,267
未払消費税等	25,688	4,690
前受金	111,909	53,358
システム障害対応費用引当金	—	2,420
賞与引当金	71,228	83,951
その他	8,001	10,722
流動負債合計	831,733	989,915
固定負債		
長期借入金	195,000	742,786
退職給付に係る負債	6,010	10,192
固定負債合計	201,010	752,978
負債合計	1,032,743	1,742,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	1,098,920	460,087
自己株式	△499	△499
株主資本合計	1,519,653	880,820
非支配株主持分	7,548	7,269
純資産合計	1,527,201	888,089
負債純資産合計	2,559,945	2,630,983



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,335,613	1,117,759
売上原価	701,275	884,675
売上総利益	634,337	233,083
販売費及び一般管理費	594,274	575,119
営業利益又は営業損失(△)	40,063	△342,035
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	1
受取賃貸料	21,402	20,272
業務受託料	3,000	3,000
その他	74	22
営業外収益合計	24,479	23,297
営業外費用		
支払利息	1,300	2,043
賃貸収入原価	19,014	18,269
支払手数料	—	6,000
営業外費用合計	20,314	26,312
経常利益又は経常損失(△)	44,228	△345,050
特別損失		
固定資産除却損	—	125,934
システム障害対応費用	—	125,275
特別損失合計	—	251,209
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	44,228	△596,260
法人税、住民税及び事業税	28,811	1,194
法人税等調整額	△904	△1,657
法人税等合計	27,906	△463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,321	△595,796
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△556	△383
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	16,877	△595,413

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,321	△595,796
四半期包括利益	16,321	△595,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,877	△595,413
非支配株主に係る四半期包括利益	△556	△383

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	44,228	△596,260
減価償却費	165,269	177,620
のれん償却額	19,430	19,654
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,000	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,042	4,182
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,720	12,723
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	1,300	2,043
固定資産除却損	—	125,934
売上債権の増減額(△は増加)	36,503	20,064
棚卸資産の増減額(△は増加)	△20,708	5,062
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,249	△40,630
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,194	△19,266
未払金の増減額(△は減少)	2,206	59,779
その他	11,242	△107,309
小計	244,789	△336,404
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△1,300	△2,043
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,801	△69,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,293	△407,710
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,193	△34,015
無形固定資産の取得による支出	△219,372	△119,243
敷金及び保証金の回収による収入	145	7,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,420	△146,183
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	46,000	100,000
長期借入れによる収入	300,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△126,126	△85,592
配当金の支払額	△43,223	△43,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	176,650	671,166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	137,523	117,272
現金及び現金同等物の期首残高	461,052	609,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	598,575	726,608

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,110,856	224,756	1,335,613	—	1,335,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,303	2,003	5,306	△5,306	—
計	1,114,159	226,760	1,340,919	△5,306	1,335,613
セグメント利益又は損失 (△)	73,911	△41,873	32,038	8,024	40,063

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	843,424	274,335	1,117,759	—	1,117,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,752	7,062	8,814	△8,814	—
計	845,176	281,397	1,126,573	△8,814	1,117,759
セグメント損失 (△)	△318,600	△33,384	△351,985	9,949	△342,035

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。